

出前講座 仲泊小学校6年生総合学習 「地域の文化財を知る」

昨年度から引き続き仲泊小学校6年生の総合学習として、仲泊と周辺の文化財を知るという事で、事前学習と現地見学2回の計3回に分けて行いました。

事前学習

5月28日に恩納村博物館の展示室を使い仲泊遺跡と出土遺物について説明し、研修室では先史時代の道具と現代の道具を実際に見比べるなど、仲泊遺跡から出土した道具のレプリカを実際に触れてみて当時の人がどのような生活をしていたか道具をとおして考えました。



事前学習の様子

仲泊遺跡見学

7月2日に仲泊遺跡、高麗人墓、比屋根坂石畳道、イユミーバンタの見学を行いました。この見学では仲泊遺跡が発見され、国指定に至った経緯などを当時の保存運動の写真を交えながら碑の前で説明しました。

仲泊遺跡では3,500年前～2,500年前の人々がどのような場所で生活していたのか考え、石畳道を実際に歩き琉球王国時代の人たちはどのような道を歩いていたかなど座学では見えなかったことを学びました。



仲泊遺跡見学の様子

歴史ロードを歩く

7月16日には真栄田の一里塚、フェーレー岩、山田メーガー、護佐丸父祖の墓、山田の神アサギ、クシヌカー、山田谷川(ヤーガー)の石碇(いしばし)、唐人墓碑、仲泊の一里塚を回り各史跡を説明し、より地域について興味を湧くようにクイズを出したりしながら長い道のりを楽しく見学することが出来ました。



真栄田の一里塚見学の様子

最後に

今回の仲泊小学校6年生の総合学習では、文化財を通して児童たちが住んでいる周辺地域の歴史について、知るきっかけになりました。

お知らせ

恩納村文化財普及事業

「サンゴ礁が育んだ恩納村の暮らし展」

開催期間：8月7日～10月24日(日) 9:00～17:00

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、予告なく開催期間を変更する場合がございます。最新情報は恩納村博物館ホームページをご覧ください。

